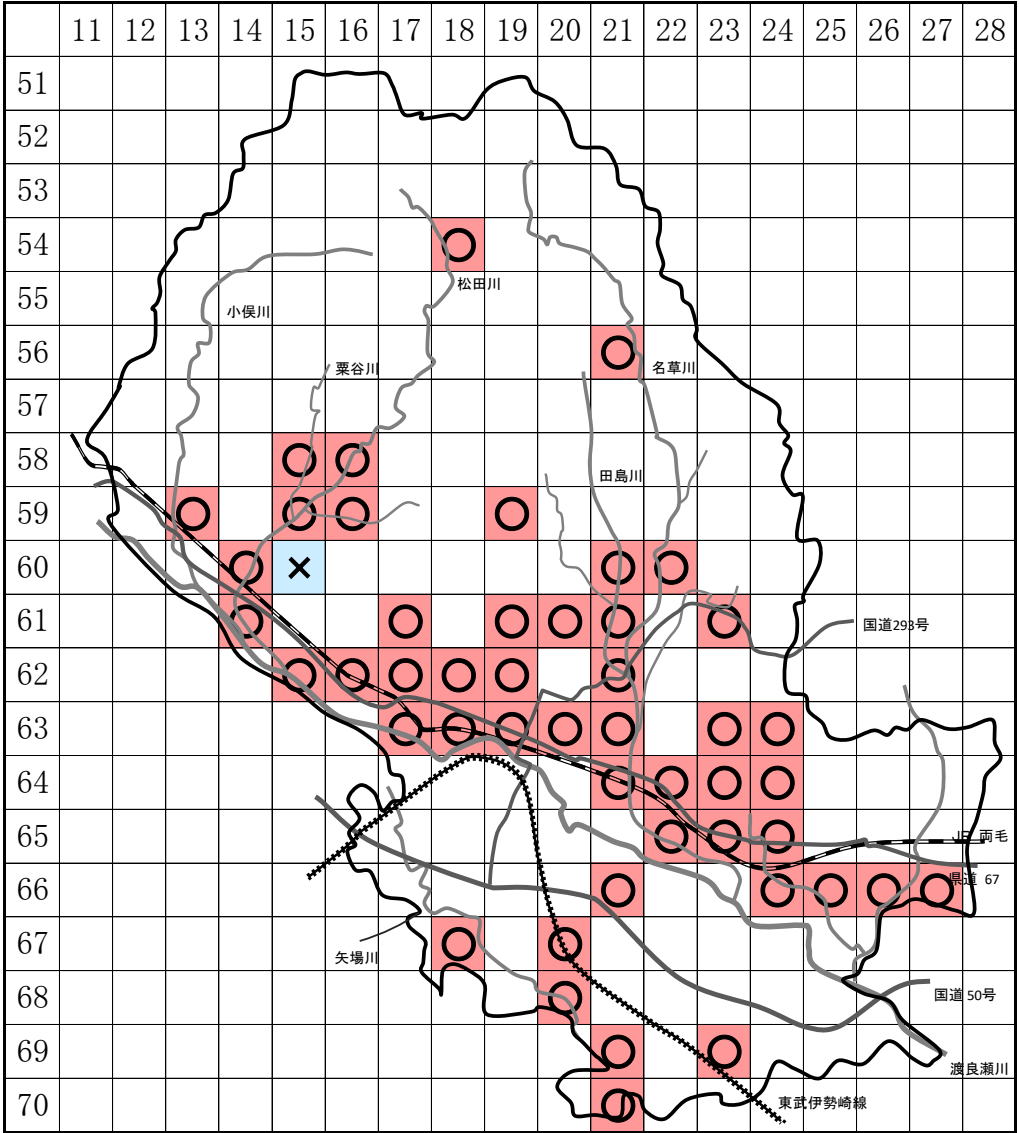


<h1 style="margin: 0;">外来タンポポ</h1> <p style="margin: 0;">セイヨウタンポポ アカミタンポポ</p>	確認数： 48 メッシュ
	報告数： 49 メッシュ
	2021年度 55/57 2020年度 55/57

※過年度 確認数/報告数



はないろがきいろで総苞片がそりかえるもの。どちらもヨーロッパ原産で明治時代に日本には入ってきた。アカミタンポポは名の通り果実が赤味を帯びる種類だが、セイヨウタンポポと区別しにくいので、まとめて外来タンポポとする。花は主に春に咲くが、夏や秋にも咲いているものがある。

かんさつてきき
観察適期
 はなが 4月～5月

- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

ほぼ全ての調査メッシュで確認出来たということは、生育環境が高い確率で安定しているとの結果だと思います。同じメッシュを長年にわたり調査することは重要ですが、今まで調査しなかったメッシュにも目を向けるのも楽しいかもしれません。

在来タンポポ

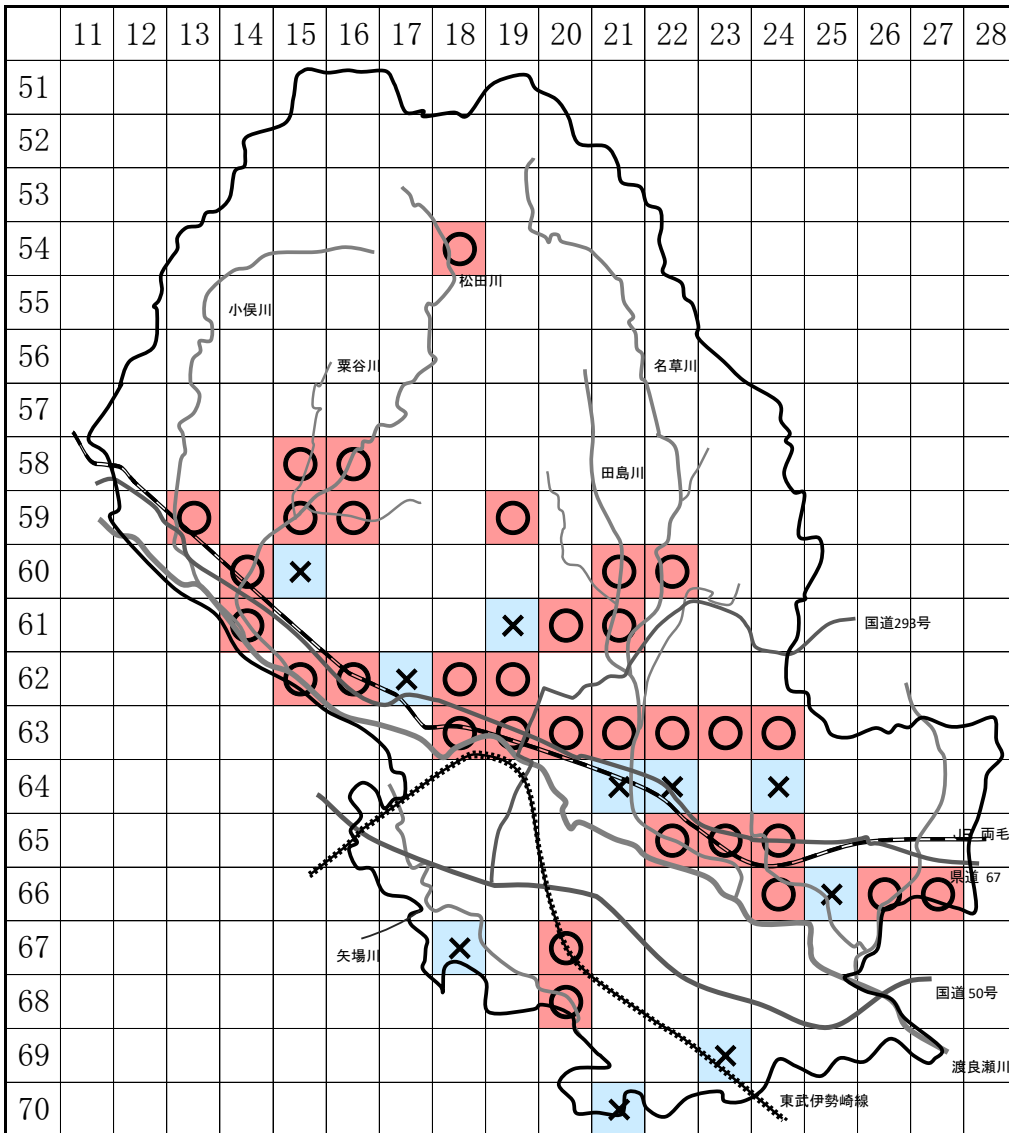
ニホンタンポポ(エゾタンポポ
カントウタンポポ)

確認数： 32 メッシュ

報告数： 42 メッシュ

2021年度 35/48 2020年度 37/47

※過年度 確認数/報告数



はな まいり そほうへん
花が黄色で総苞片が

そりかえらないもの。
じゆうらい あしかがふきん
従来、足利付近のものはエゾタンポポとカントウタンポポの2種類かんがと
考えられていたが、さいきん けんきゆう
最近の研究でニホンタンポポとしてまとめた
ほうがよい事がわかった。

はな ひら かた あか
花の開き方が明るさ
によって変わるので、くもったひなどに注意
してみたい。

かんさつてきき
観察適期

はな がつ がつ
(花) 4月~5月

・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示

・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

この数年、出現率は大きな変化は見られませんでした。生育環境は比較的安定していると思われ
ますが、河南地域と西部の一部地域は環境の変化に注意が必要と思います。国内の一部地域
では、外来タンポポと在来タンポポの雑種が出現しているとの調査結果も出ているようですので、
これについても注意が必要と思われます。

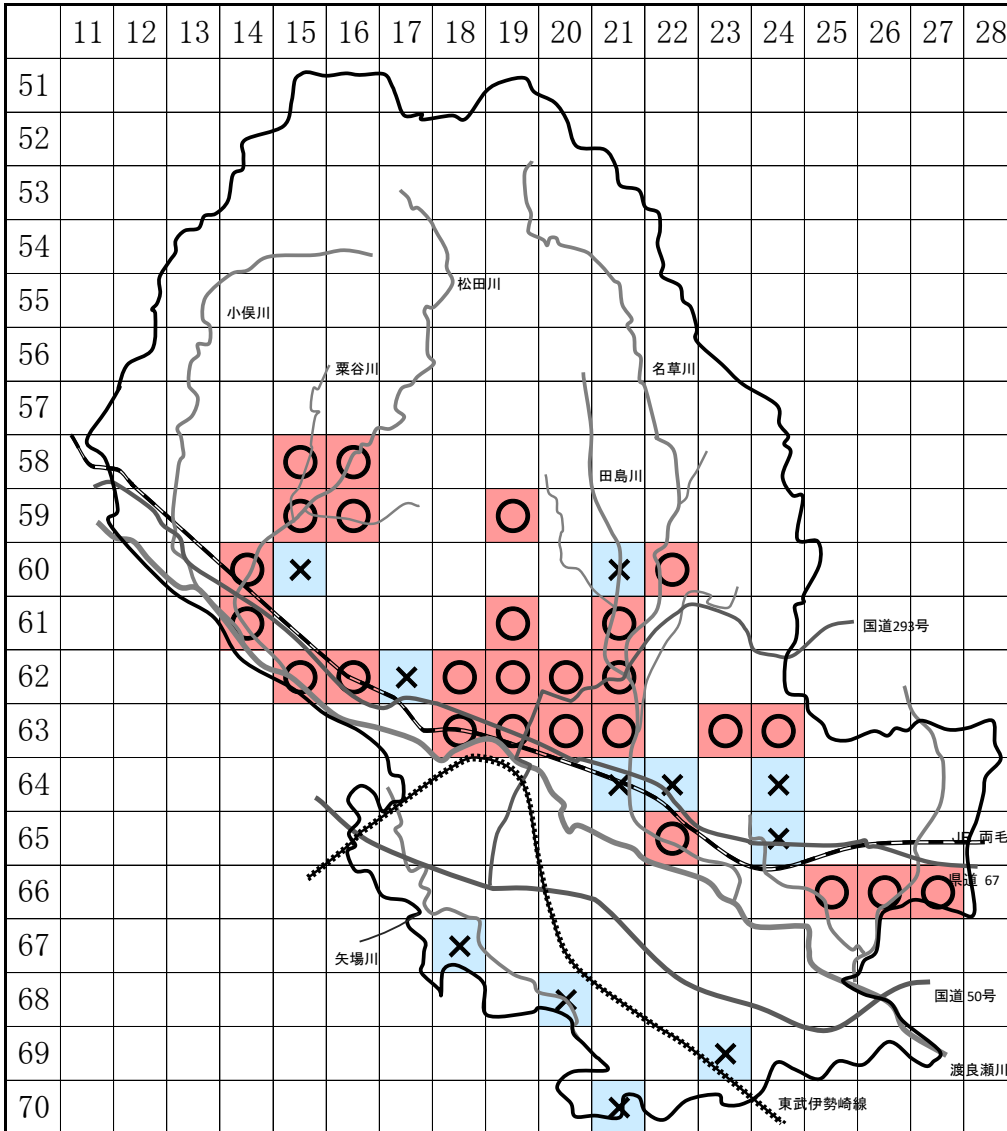
シロバナタンポポ

確認数： 26 メッシュ

報告数： 37 メッシュ

2021年度 31/48 2020年度 32/42

※過年度 確認数/報告数



花が白色（中心付近がやや黄色味を帯びる）なのはこの一種だけである。

昔から日本にあった種（在来種）であるが、よく目立つので黄種と区別して調べてみよう。ただし、総苞片がそりかえるので開花時以外では外来タンポポとの区別に注意したい。

観察適期
(花) 4月～5月

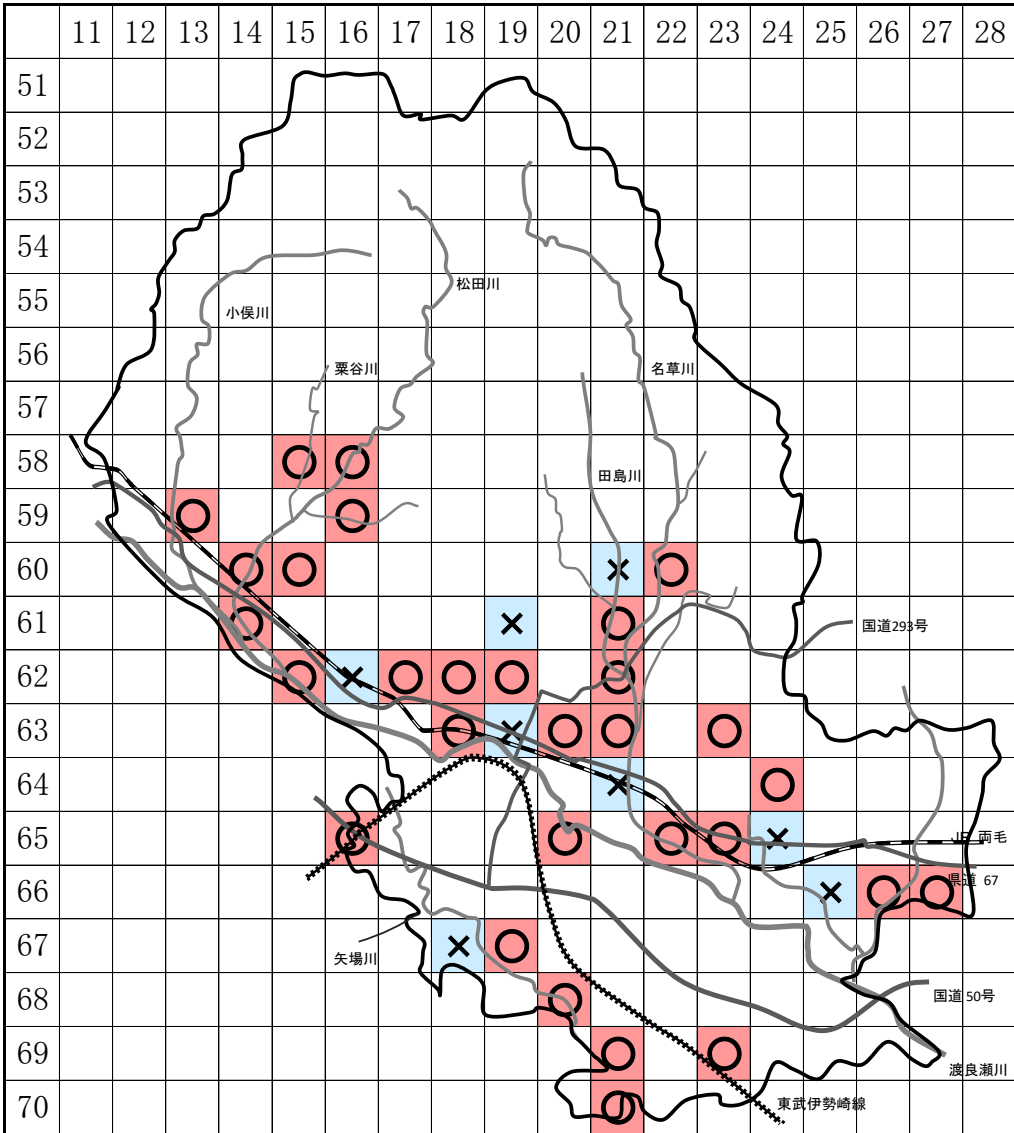
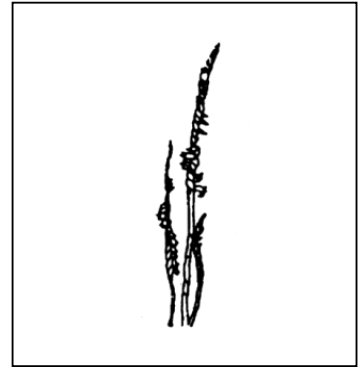
- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

今年度の出現率は、前年度よりも多くなりましたが、河南地域からの確認報告がありませんでした。比較的確認しやすい種なので花のある時期にメッシュを変えての調査結果にも興味があります。

<h1 style="margin: 0;">ネジバナ</h1> <h2 style="margin: 0;">(モジズリ)</h2>	確認数： 30 メッシュ
	報告数： 38 メッシュ
	2021年度 37/47 2020年度 38/45

※過年度 確認数/報告数



野の草地、かわらの土
手、芝生の中などに生
える愛らしい多年草。
茎は高さ10~30cmで、
まっすぐ立ち、上の方
に「らせん」状に淡紅
色の5mmほどの花をつ
ける。名前はこの花の
つき方からついたもの
である。

かんさつてきき
観察適期
はな がつ がつ
(花) 6月~8月

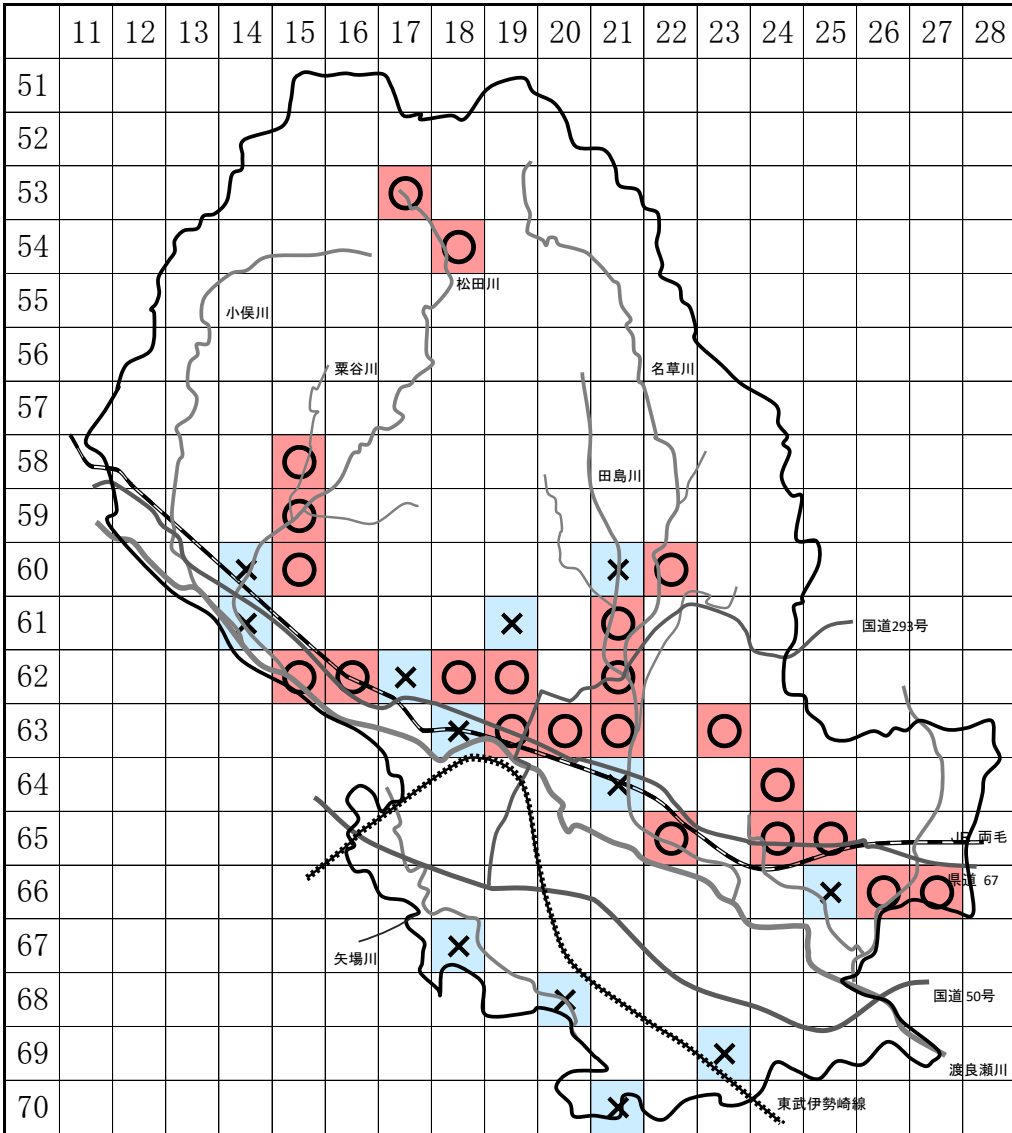
- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

ラン科植物の中では、人的影響も見られず、安定した生育環境がうかがえます。芝生や草丈の低い草地や土手等に好んで自生しているようです。

ヤマユリ	確認数： 22 メッシュ
	報告数： 34 メッシュ
	2021年度 18/36 2020年度 21/35

※過年度 確認数/報告数



やま はやし
山の林のふちなど
の、主に傾斜した草む
らに生える多年草。高
さは1mぐらい。花は白
く内側に赤い斑点があ
り、直径20~25cmで、
にほんの草の中では最
大。強い香りがあり7
~8月に咲く。地下に
鱗茎があり食用にす
る。

かんさつてきき
観察適期
(花) 7月~9月

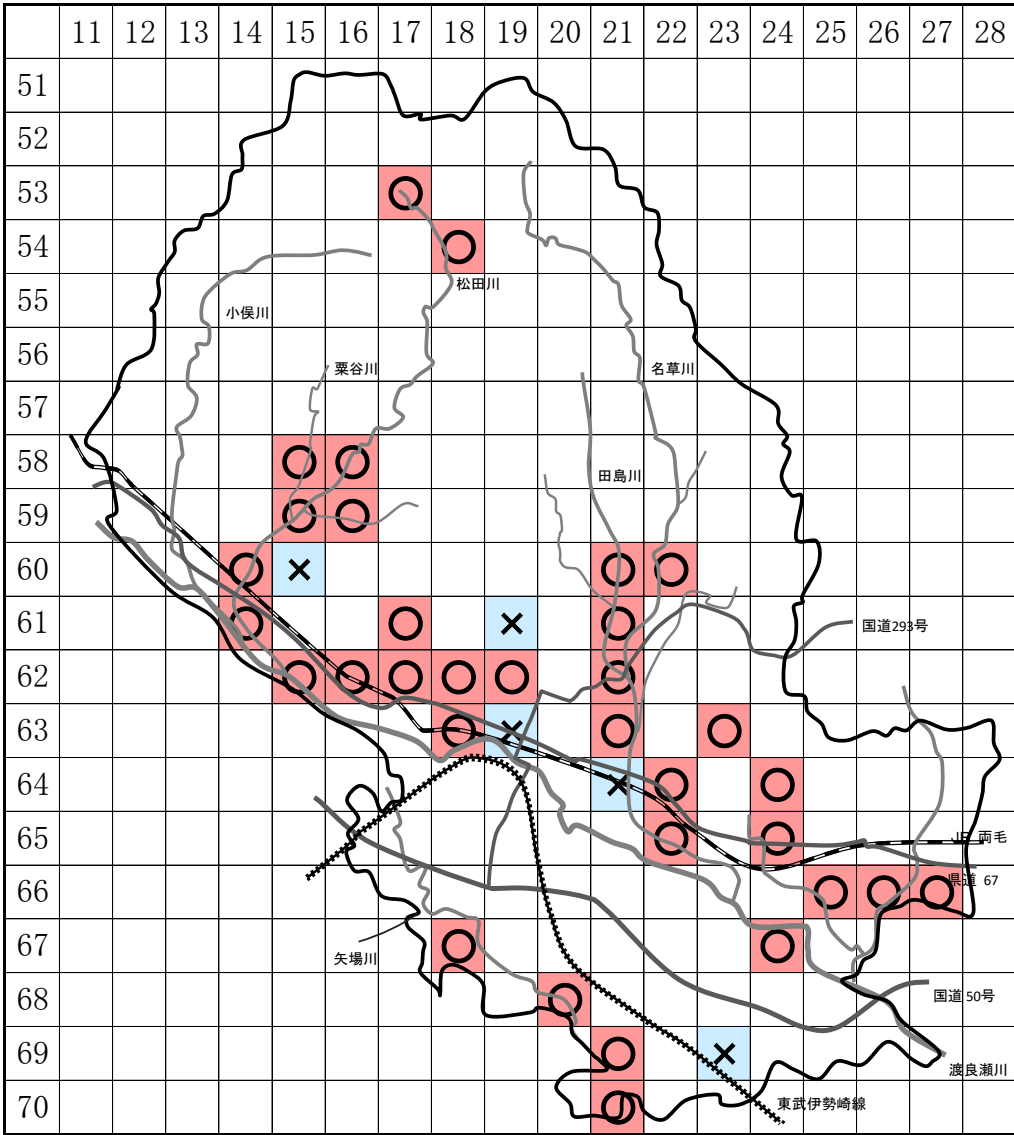
- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

今年度は、前年度に比べて出現率はアップしています。河南地域で確認は出来ませんでしたが、元々山沿いや丘陵に自生する植物なので、確認出来なかったのは普通だと思います。確認出来たメッシュでは、無理のない範囲で個体数の確認も出来たらと思います。いくつかの理由で最近数が減少してきたとの報告も聞きます。

ヨシ (アシ)	確認数： 33 メッシュ
	報告数： 38 メッシュ
	2021年度 38/43 2020年度 38/45

※過年度 確認数/報告数



いけ ぬま、かわぎし、しっち
池や沼、川岸、湿地
に生える大型の多年
草。
ふと ちかけい
太い地下茎をのぼし
群生する。1.5~3mの
丈夫な茎は「よしず」
を作るのに用いられ
る。8~10月に大型の
ススキのような穂をつ
ける。

かんきつてきき
観察適期
ねん かん
年 間

- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

この3年間の出現率は、80%を超えて安定しています。ヨシは生育すると太い地下茎により環境が良いと大きな群落を作り、他の植物を追い出し優占種になり易いようです。ススキやオギ等と間違わないように確認してください。

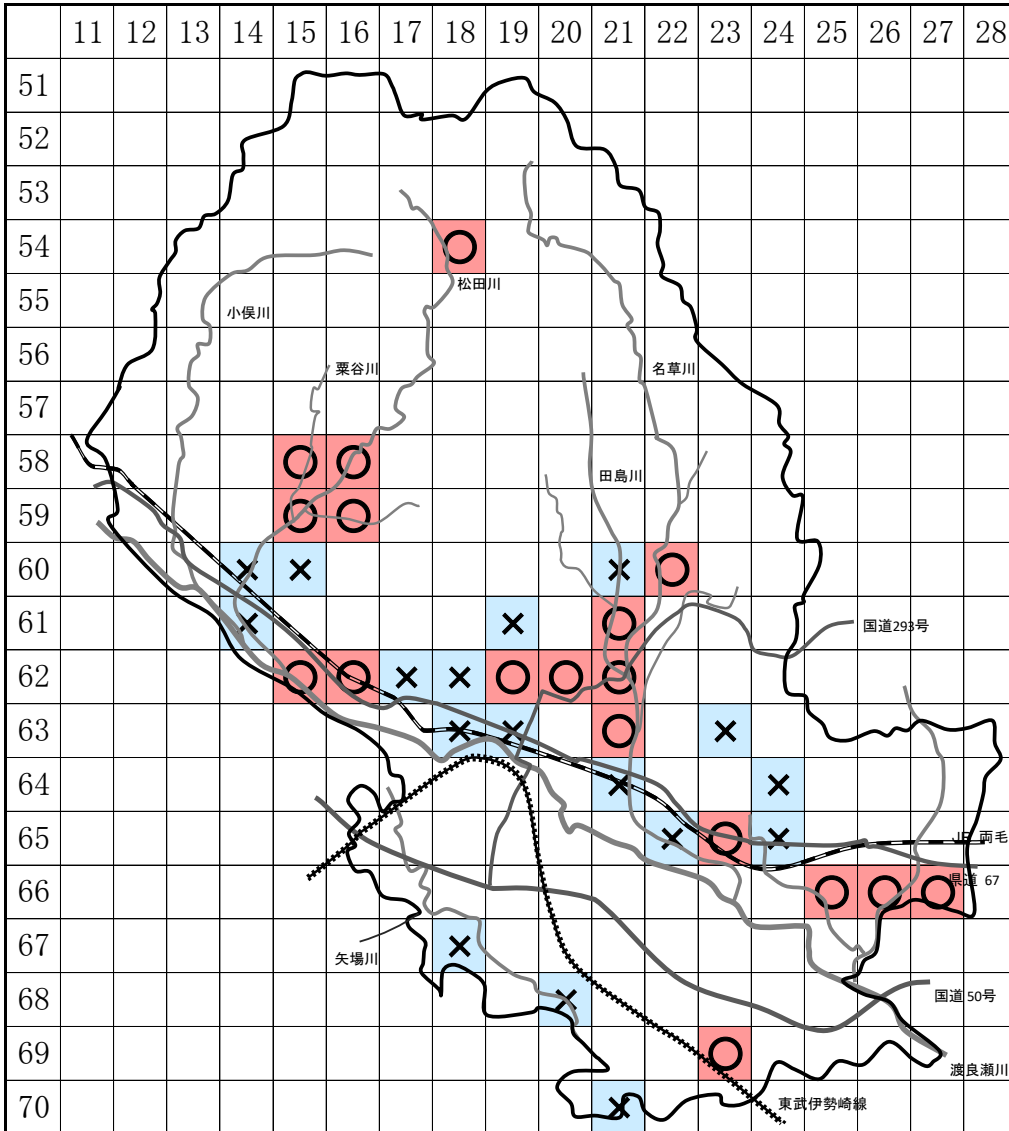
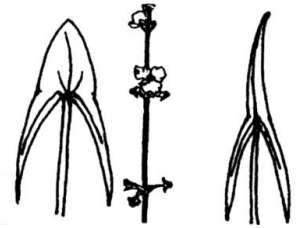
オモダカとアギナシ

確認数： 18 メッシュ

報告数： 35 メッシュ

2021年度 19/35 2020年度 20/33

※過年度 確認数/報告数



水田や用水路、沼のへりなどに生える。花は夏～秋に咲き、白い花弁が3枚でよく自立つ。葉は矢じり型、アギナシの方が細いが遠くから見ただけでは区別しにくい。どちらも同じような環境に生える水生植物の代表的なものとしてまとめて調査する。

かんきつてきき
観察適期
(花) 7月～9月

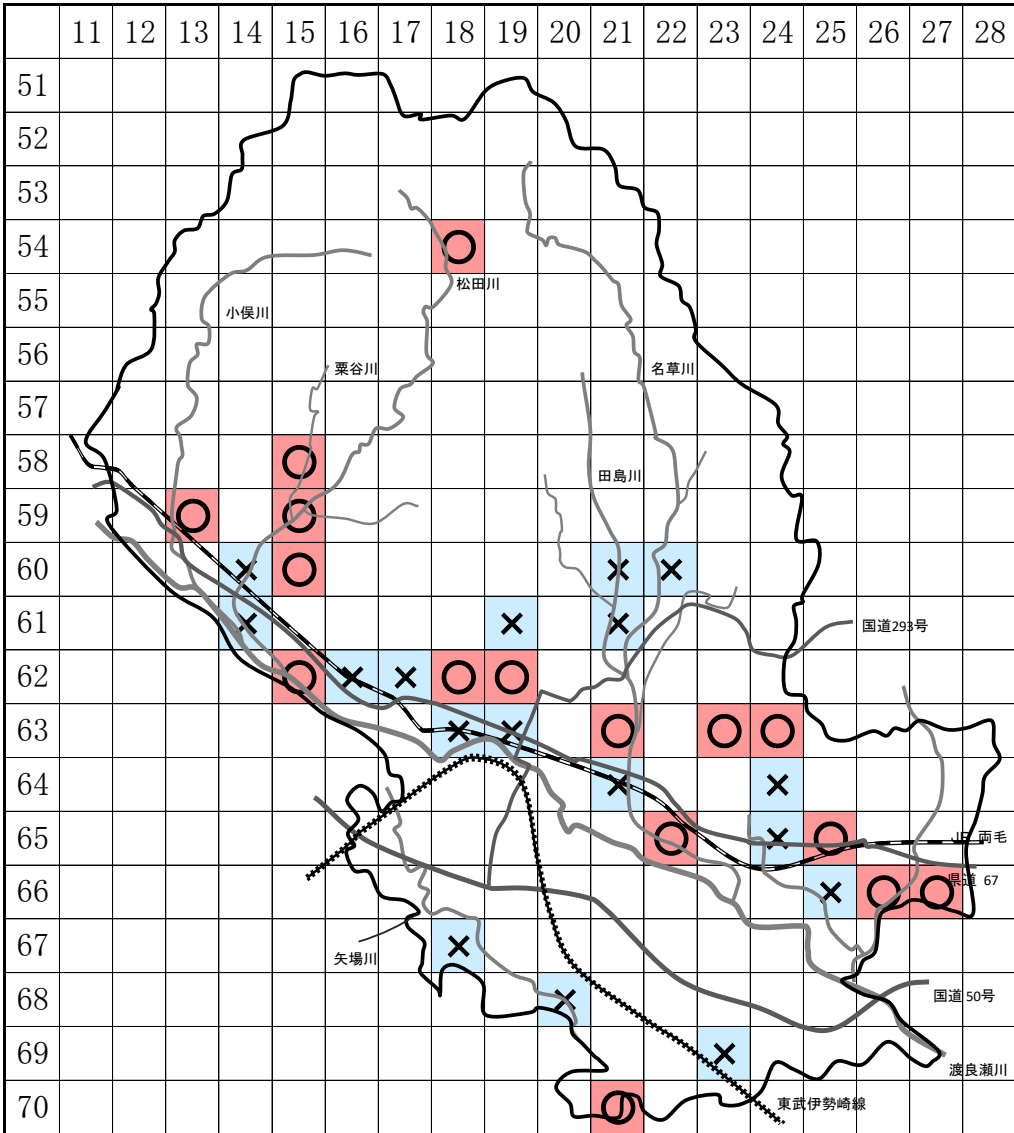
- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

直近3年間の出現率は、50%を超えて安定しているようです。ただ河南地域においては、前年度に比べて激減しているのが気になります。水田や溝に矢じり型の変った葉をつけた草を見かけたら、それはオモダカかアギナシで間違いないでしょう。7月～9月には、3弁の白い花が見られると思います。

ガ マ ズ ミ	確認数： 16 メッシュ
	報告数： 33 メッシュ
	2021年度 18/39 2020年度 14/28

※過年度 確認数/報告数



やまののの林のなかに
 は生える高さ2~3mの落
 ようていぼく葉低木。5~6月ごろ、
 えださきしろはなあつ
 枝先に白い花が集まっ
 て咲く。10月には、
 5mmほどの卵形の実が
 あか、のちにくるじやく
 赤く、後に黒っぽく熟
 し、甘酸っぱくて食べ
 られる。

かんさつてきき
観察適期
 はながつ (花) 5月 (実) 10月

- ・生き物が見つかったメッシュ ○ 印で表示
- ・生き物が見つからなかったメッシュ × 印で表示

調査結果

ちよつきん ねんかん しゆつげんりつ
 直近の3年間の出現率は、50%前後で推移しています。かなんちいき しゆつげん すく
 河南地域に出現が少ないですが、やま
 きゆうりようち せいいく けつか おも
 や丘陵地に生育するので、このような結果になると思います。むしろ1ヶ所のメッシュで確認さ
 れたことは、よくかんさつ けつか おも
 良く観察した結果だと思ひます。がつ かき みのが
 5月の花期に見逃しても、10月にはあかめだつ
 み がつ おも
 実を付けるので、見つけ易いと思ひます。